

都市計画道路を考える 小金井市民の会

都議選特集臨時号（第15号）
2017年6月21日
連絡先 事務局 阿部 達
☎090-7847-3968

都議選公開アンケート結果

2017年都議会議員選挙（小金井選挙区）に立候補を表明されている方に、公開アンケートをお願いしました。

ご回答のあった方のご見解をお知らせします。

1. 都市計画道路「小金井3・4・1号線」と「小金井3・4・11号線外」の事業化についてどうお考えですか

お名前	賛成	反対	その他	理由
漢人あきこ		○		市の南部に広がる、はげ（国分寺街宣）や野川、湧水や雑木林や坂道の自然環境は、都市部に残る貴重な生態系です。ドブ川となっていた野川の清流への復活、様々な水枯対策、地下水涵養のための雨水浸透枡の全国的にも飛びぬけた設置率、先進的な湧水・地下水保全条例の設置など、この環境は市民と行政による熱い思いと努力によって守えられてきたものです。この大切な里山的環境は、責任をもって次世代に渡していかなければならないと考えます。
辻野栄作				いろいろなご意見を傾聴し都市計画道路のあり方を熟慮します。その中で小金井市の自然や歴史などには配慮が必要と考えます。
朝倉法明		○		小金井市内でガーデナー・造園業を35年にわたり営んできました。自然環境や動植物への思いは人一倍です。国分寺崖線（はげ）の自然はかけがえのない大変貴重なものです。この自然を壊すことは許されません。 50年以上も前の計画です。すでに時代や社会状況は大きく様変わりしています。宅地化が進み、交通量は自動車台数も含めてすでに減少傾向です。待機児童や介護や高齢者福祉の充実などの課題が切実です。道路建設に莫大な税金を投入するより、もっと優先して行うことがあるのではないのでしょうか。計画決定にあたってのパブリックコメントでは2つの路線とも95%を超える方が「見直し・廃止」と答えています。市民の理解を得られていないことは明らかです。地権者の方からも、突然の優先整備路線への指定で、「寝耳に水」との話を聞いています。 道路計画の中止とともに、計画そのものの廃止を求めて全力をあげます。
広瀬まき			○	都道は都が主体となって広域的につくられるものであり、市内の道路との整合性をもって計画されるべきものと考えます。そのような観点から、都に対し、その必要性を含め、市での説明会の開催や市民意向調査の実施を求めてまいります。

2. 東京全体で、東京都が進めている都市計画道路についてのお考えと、今後の東京都の道路行政のあるべき姿についてお考えをお聞かせください。

お名前	ご意見
漢人あきこ	<p><東京都の都市計画道路についての考え> 新たな道路計画は、関係住民との協議を重視し、原則見直しすべきと考えます。</p> <p><今後の道路行政のあるべき姿> 車離れ、人口減少社会に向かう中、新たな道路の建設は極力控え、現在の道路の補修・維持管理をベースとするべきです。</p>
辻野栄作	<p>都民ファーストの会としては東京都の交通ネットワークの整備を促進することを公約の一つとしていますが、個々の地域の状況も勘案し、多くの方々のご意見をお伺いしたいと考えています。</p>
朝倉法明	<p>東京都は、50年前に決めた都市計画道路計画を含めて、ほとんど見直しを行ってきませんでした。しかも、関係住民や市民に理解と合意を得る努力がまったく不十分で、突然の計画決定が行われ、決まった都市計画事業は何があっても見直そうとしないのが実態であると言わざるを得ません。人口減少や交通量・自動車台数の減少、少子高齢化など時代や社会状況の変化を踏まえて、道路行政を見直すことが必要です。都市計画道路の必要性をよく検討し、不要・不急の計画の見直し・廃止を大胆に行うべきです。</p> <p>道路建設に莫大な税金を使うよりも、待機児童解消や介護・高齢者福祉など、暮らし・福祉の充実こそ必要です。</p>
広瀬まき	<p>都市計画道路は、防災・物流等さまざまな観点から、長期的視点に立った整備が必要と考えています。同時に地域に暮らす住民の生活の利便性の向上、自然の保護なども不可欠です。そのような視点に立って、東京都の道路行政には物申してまいります。</p>

うちこが宏様からは下記の返答をいただきました。

うちこが宏	<p>本件に関しては、東京都と小金井市間の橋渡しが必要な最重要課題として大きな関心があります。</p> <p>一方で、まだまだ勉強中のことゆえ、一度御会の皆さまのご意見をヒアリングをさせて頂く機会を頂戴できたら大変幸甚です。</p>
-------	--